

2021年11月1日

株式会社京葉銀行



## 「Chiba クリーンアクション 竹林整備体験事業」の実施について

～千葉大学×京葉銀行 eco プロジェクト～

株式会社京葉銀行（頭取 熊谷 俊行）は、国立大学法人千葉大学（学長 中山 俊憲）、特定非営利活動法人竹もりの里（理事長 鹿嶋 與一）、一般社団法人もりびと（代表理事 千葉 美賀子）との共催で、2021年10月30日（土）、「千葉大学×京葉銀行 eco プロジェクト Chiba クリーンアクション 竹林整備体験事業」を実施しましたので、お知らせいたします。

当日は約30名が千葉県長柄町で、竹林の間伐や清掃、竹炭・竹粉作りなどを体験し、荒廃した竹林の現状や竹材を利活用する過程について理解を深めました。

また、これに先立ち、2021年10月9日（土）には、竹害や竹材のビジネス化について学ぶセミナーも開催され、参加した学生は、竹林整備が地域の課題解決につながることを学びました。

### 【本事業の背景】

千葉県は、日本でも有数の竹林面積を誇りますが、適度な間伐などの整備が行き届かないため、さまざまな竹害が深刻になっています。竹が無秩序に繁殖することにより、良質な竹材や筍の収穫が難しくなるうえ、土壌保持力低下による崖崩れ、森林の生態系の単純化、河川を通じた枯れ材の海への流出などが発生しています。

本事業は、こうした竹害の現状や、竹材の活用・ビジネス化について、千葉大学の学生とともに学び、実際に竹林現場の整備を体験する試みです。本事業はセミナーを含め、全3回シリーズで構成し、3回目は2021年12月4日（土）、実施予定です。

<事前セミナーの様子>



<整備体験の様子>



### 【後援について】

本事業は、長柄町（町長 清田 勝利）、特定非営利活動法人環境パートナーシップちば（代表理事 桑波田 和子）から後援をいただいています。

今後も京葉銀行は、地域とお客さまの課題解決に積極的に取り組んでまいります。

以 上



京葉銀行ではSDGsへの取り組みに関するニュースリリースに、「SDGs 17の目標アイコン」を標示しています。

【SDGs : Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）】  
2015年9月に国連で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成される。